

分科会

2019年7月7日

2019年の総会シンポジウム2日目は、4つの分科会を設けました。

第1分科会は、研究所に関わる若手研究者から「これからの協同を探求するー若手研究者からみる協同の姿ー」というテーマで報告をいただきました。第2分科会は、公募研究会である物の整理研究会を中心に、「『物』の整理を通して考えるー暮らしの安全・安心と生協の役割」と題して開催しました。第3分科会は、昨年度も取り上げた事業性と社会性という視角から、「生協が『農』に関与することの意味ー事業性と社会性から考えるー」をテーマに、多様な協同を实践する生協にご登壇いただきました。そして、第4分科会では多発する各種災害と生協の課題を考える「広域自然災害に対して、生協の総合力をどう発揮させるか」を開催しました。

いずれの分科会もたいへん時宜を得たテーマであり、登壇された報告者やコーディネーターだけでなく、参加者全体で議論を深めることができました。個人化が進む現代社会において、山積する各種課題に生協はどのように向き合うのか、そしてそれは組合員や若者の目にどう映っているのか。本誌には、各分科会の報告と議論のすべてを掲載することはできませんが、その示唆を読み取っていただければ幸いです。

(本誌編集委員 加賀美太記)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第1分科会



岩橋涼氏



小林那奈子氏



浮網佳苗氏



青木美紗氏

第2分科会



横尾将臣氏



西山尚幸氏

第3分科会



脇坂喜文氏



大越健治氏



辻村英之氏

第3分科会



高橋房大氏



宮内清志氏



高羽克昌氏



浜岡政好氏



二場邦彦氏